

「人口減少対策検討懇談会」からの意見の概要と本市の考え方について

1 「人口ビジョン」について

No.	意見の概要	意見に対する市の考え方
1	・流入人口の増加と併せて、流出人口をどう抑えていくかという観点でも、考え方や手法の検討が必要である。	・人口の将来展望の考え方、目指すべき将来の方向の表現に反映した。 (人口ビジョンP. 22, 26)
2	・宇都宮が良くなることで、県全体の活性化につなげることが重要である。	・県全体の人口減少に歯止めをかけるため、県の将来推計とも整合を図りつつ東京圏からの流入人口増加を方向性に位置付けた。 (人口ビジョンP. 22, 26)
3	・中心市街地の活性化などに影響を与えやすく、生産性の低いサービス産業については、人口減少での需要減少に伴う影響を考える必要がある。	・意見を踏まえ、「人口の変化が地域の将来に与える影響」に反映した。 (人口ビジョンP. 15)
4	・人口減少は50万人で維持するという見通しだが、その場合、目指すべき将来の方向で「人口減少時代に適合したまちづくりを実現する」というより「人口構成の変化に対応した…」という表現の方が良いのではないか。	・目指すべき将来の方向の表現を修正した。 (人口ビジョンP. 26)

2 「地方版総合戦略」について

① 人口の自然動態について

No.	意見の概要	意見に対する市の考え方
1	・子どもを産んだ場所に地域愛が生まれる。「幸せビジョン」を描くなど、子どもを産み育てる喜びや夢を共有できるモチベーションを高める機運が必要である。	・意見を踏まえ、家族観・結婚観を醸成するための各施策の中に反映した。 (地方版総合戦略P. 4～7)
2	・子育ては良い、子育ては楽しいというポジティブなイメージを作り上げる。	
3	・結婚・子育てについては、アンケート結果を踏まえながら年代や仕事環境による違いや、地域の課題などに対応したきめ細かい戦略づくりが必要である。	・施策に「結婚に繋がる支援の拡充」「子育て支援の充実」を盛り込んでいる。 (地方版総合戦略P. 4～7)
4	・2人目、3人目の出産・子育てが優遇される工夫が必要である。	・施策に「多子世帯等への支援」を盛り込んでいる。(地方版総合戦略P. 7)

5	・出産後、社会復帰しやすい環境の整備が必要である。	・施策に「働きながら子育てできる環境の実現」を盛り込んでいる。
6	・出産・子育てで、これまでの職歴が途切れてしまうことを恐れる傾向があるのではないか。子育て中の労働時間の短縮や、成果制の導入など働き方の工夫が必要ではないか。	(地方版総合戦略P. 7)
7	・大学の授業等においても、異性とのコミュニケーションの取り方など将来の結婚につながる施策を行っていく必要がある。	・意見を踏まえ、今後、関係機関等への要請を検討していきたい。

## ② 人口の社会動態について

No.	意見の概要	意見に対する市の考え方
1	・企業誘致や企業の撤退・流出を食い止める取組、操業継続のための事業再生、円滑な事業継承による雇用の保持、新規創業や第二創業への取組が重要である。	・意見を踏まえ、基本目標2の中での取組に反映した。(地方版総合戦略P. 9～13)
2	・企業間などの「連携」が必要である。	・「経済を支える地域産業の競争力の強化」において取り組んでいく。
3	・「ブランド」の構築が必要である。	・「宇都宮ブランド戦略の推進」において取り組んでいく。
4	・産業の地産地消が必要である。	・「経済を支える地域産業の競争力の強化」において取り組んでいく。
5	・宇都宮の企業の魅力や採用情報の発信を充実する必要がある。	・「安定した雇用の創出」の中で取組を盛り込んでいる。(地方版総合戦略P. 10)
6	・都会のスキル保有者と地方企業をマッチングし、就業・移住を促進していくことが重要である。	
7	・女性も男性と同じように働くことのできる社会を実現する。	
8	・農林業6次産業化、観光振興、本社の地方移転等は新たな成長産業となる。	・基本目標2の中で取組を盛り込んでいる。(地方版総合戦略P. 9～13)
9	・首都圏の大学での情報提供・説明会等による、Iターンの増加が重要である。	・「安定した雇用の創出」の中に取組を盛り込んでいる。(地方版総合戦略P. 10)
10	・農業活性化には、新規参入者が生活できるような農業経営の支援が必要である。	・「経済を支える地域産業の競争力の強化」の中に取組を盛り込んでいる。(地方版総合戦略P. 9～10)

11	・自分の地域に誇りを持ち、切磋琢磨しながら皆で向上することが必要である。	・「市民協働のまちづくりの推進」の中に取組を盛り込んでいる。(地方版総合戦略P. 11)
12	・地域が一丸となって、住んでいる地域を愛する取組が大切である。	
13	・優秀な人材の確保に向け、働きながら能力アップできる仕組みが必要である。	・「安定した雇用の創出」などの推進の中で取り組んでいく。
14	・生産年齢人口の減少によって、技能の伝承や中間管理職の不足といった課題があり、そうした層の増加が必要である。	
15	・宇都宮に来てもらう人を増やすためには、本市の良さについて市民がもっと対外的にアピールを行っていく必要があるのではないか。	・「宇都宮ブランド戦略の推進」などの推進の中で取り組んでいく。
16	・企業誘致は人口対策が一挙に進むという点で魅力的であるが、経済環境の影響などが大きく市の取組としてはやや焦点がずれてしまう印象があり、中小企業の経営の継承や創業支援など、市の裁量で政策化できるものも長期的な視点で検討していく必要がある。	・意見内容を踏まえ、「経済を支える地域産業の競争力の強化」の中でそれぞれの取組に反映した。(地方版総合戦略P. 9～10)
17	・中小企業の課題として人材の確保があり、人材育成やマッチングの取組、また、大学と企業が連携して、インターンシップ制度を充実させることも必要である。	・施策に「安定した雇用の創出」を盛り込んでいる。(地方版総合戦略P. 10)
18	・有効求人倍率は成果指標としては良いが、正社員と非正規が両方入っていることに留意する必要がある、正社員を増やす努力を行っていくことも必要。	・施策に「安定した雇用の創出」を盛り込んでいる。(地方版総合戦略P. 10)
19	・企業誘致において、大企業と併せて、関連企業もまとめて誘致できるような支援が必要ではないか。	・意見を踏まえ、引き続き、企業・団体等との情報交換等を通じ、ニーズを踏まえた取組を検討していきたい。
20	・企業立地について、域内の波及効果を高めていくためには、県内で仕入れて県外に売るという流れを作り、域外からお金を得て域内に波及させていくことが必要。	
21	・就職においては、どこに住むかというよりも、どの企業に入るかが先で、そこから住む場所を決めるという順番ではないか。この優先順位を変えることは難しいが、東京圏から人を呼び込む際には、若い世代に限らず、物価の違いや、子育てのしやすさなど、トータルでは宇都宮の方が暮らしやすいことをアピールしていく必要があるのではないか。	・「宇都宮ブランド戦略の推進」など具体施策において明確化を図っていく。(地方版総合戦略P. 13)

③ 都市基盤の形成について

No.	意見の概要	意見に対する市の考え方
1	・今ある地域資源である「歴史的景観物・景観など」を活用するとともに、将来の資産となる「文化・スポーツ・教育など」を育成し、まちの魅力づくりが必要である。	・「歴史・文化による地域活性化の推進」に施策を盛り込んでいる。 (地方版総合戦略P. 13)
2	・発想・価値観・パラダイムを転換し、50年先の「まち」の姿を明確化する必要がある。	・意見のような視点を持ちながら、「ネットワーク型コンパクトシティ」を掲げている。
3	・ネットワーク型コンパクトシティの形成をしっかりと進め、人口密度の偏在に対応した公共施設の再整備や、魅力的な都市の形成の取組が必要である。	・意見を踏まえ、基本目標3の中で「ネットワーク型コンパクトシティ」の実現に向けた施策に反映した。(地方版総合戦略P. 14～19)
4	・公共交通ネットワークの形が具体に見えてくると、それに合わせて各地域の住みやすい場所などが明確になってくるのではないかと。	・施策「円滑で利便性の高い総合的な交通体系の確立」「快適な居住環境の形成」において明確化を図っていく。 (地方版総合戦略P. 17, 18)
5	・「ネットワーク型コンパクトシティ」で拠点形成を明確にしているが、各拠点の特色をもう少し明確にしてアピールしたほうが良い。	・意見を踏まえ、具体施策の推進の中で明確化を図っていく。

④ その他

No.	意見の概要	意見に対する市の考え方
1	・人口の自然増と社会増は循環構造であり、その循環の仕組みづくりが必要である。	・意見を踏まえ、それぞれの分野に関連する取組の表記を工夫した。
2	・宇都宮の良い面を前面に押し出すことが必要である。	・意見を踏まえ、本市の特徴や強みを生かした取組を盛り込んだ。
3	・総合戦略の施策相互の関連性、優先順位などのメリハリを見せるために、各施策を統合したときにどのような成果がでるかを示すと良いのではないかと。	・意見を踏まえ、「講ずべき施策に関する基本的方向」の表記を工夫した。
4	・全体のイメージを表現するようなキャッチフレーズがあると良い。	・意見を踏まえ、これまで本市の都市ブランド戦略で用いてきた「100年先も誇れるまちを、みんなで」のフレーズを記載した。
5	・総合戦略には、差しあたってこれだけは実施するという発信力があるものを1～2つでも位置づけていく必要がある。	・意見を踏まえ、新規の施策について可能な限り盛り込んだ。
6	・総合戦略には、企業だけでなく市民についても総合戦略の主体として取り込んでいった方が良い。	・施策の推進にあたり、意見を踏まえた取組を進めていく。